



日常のごみ出しを活用した 地域コミュニティの向上に取り組みます

- 国補助を活用し、「資源回収・コミュニティステーション」を設置します -

生駒市は、資源回収スペースと交流・滞在スペースを併設した「資源回収・コミュニティステーション」を設置し、日常の“ごみ出し”を通じて市民が集まる拠点とするモデル事業を提案し、8月16日に環境省補助事業として採択されました。新たな地域モデルの実現を目指し、9月議会の補正予算に提案します。

■ 事業の目的

資源ごみを回収しつつ、買物支援、健康づくり、介護予防など様々な企画を実施するコミュニティステーションを設置することで、地域住民の交流のきっかけづくりを行います。ごみの分別及び資源化推進や、市民のまちづくりへの参画の促進、居場所づくりなどを行い、地域コミュニティの向上を図ります。

■ 事業の実施内容

- ① 市内1地区に有人の常設資源回収・コミュニティステーションを設置
 - ・実施期間：約2ヶ月
 - ・収集品目：生ごみ(無料)、プラスチック製容器包装、びん・缶、ペットボトル、不燃ごみ(有料袋)等
- ② コミュニティステーションでの実施事業（地域のニーズなどを踏まえ検討）
 - 農産物販売、いきいき百歳体操、高齢者向けサロン、フードドライブ

【事業のイメージ】



(2/2)

■ 補正予算（案）

委託料 9,995 千円（補助率 10/10）

※環境省・平成 31 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（脱炭素イノベーションによる地域循環共生圏構築事業）

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市環境モデル都市推進課（課長 竹本） ☎0743-74-1111(内線 371)